

平成26年2月13日

【照会先】

大臣官房統計情報部人口動態・保健社会統計課

長 小野 暁史

課長補佐 關 雅夫(内線7471)

死亡担当係 計析第一係(内線7470)

出生担当係 計析第二係(内線7472)

(代表電話) 03(5253)1111

(直通電話) 03(3595)2812

( F A X ) 03(3595)1670

## 平成20年～平成24年 人口動態保健所・市区町村別統計の概況

### 人口動態統計特殊報告

#### 目次

1	人口動態保健所・市区町村別統計について .....	1
2	出生 .....	2
3	死亡 .....	4
参 考	.....	6

この資料は、厚生労働省ホームページに掲載しています。

「統計情報・白書」→「各種統計調査」→「最近公表の統計資料」→

「平成20年～平成24年人口動態保健所・市区町村別統計の概況」

<http://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/jinkou/other/hoken14/index.html>



## 1 人口動態保健所・市区町村別統計について

「人口動態保健所・市区町村別統計」では、人口動態統計として公表している各事象（出生、死亡、死産、婚姻及び離婚）について、保健所及び市区町村（区は特別区及び行政区としている）ごとに国勢調査の年を中心とした5年間のデータを取りまとめている。

この概況では、平成22年を中心とした平成20年～平成24年のデータについて、出生に関する指標である合計特殊出生率と、死亡に関する指標である標準化死亡比について市区町村別に取りまとめている。なお、市区町村別の指標は、出現数の少なさに起因して、偶然性の影響で数値が不安定であったりするため、合計特殊出生率、標準化死亡比の推定にあたっては、小地域における推定に有力な手法であるベイズ推定を用いている。

本概況における市区町村は、平成24年12月31日時点のものであり、その対象は、人口動態統計の観察対象範囲に含まれる市区町村のうち、神奈川県相模原市、岡山県岡山市及び熊本県熊本市は行政区単位ではなく、市単位でとらえた1,888市区町村である。

## 2 出生

平成 20 年～平成 24 年の合計特殊出生率\*を市区町村別にみると、1.3 以上 1.6 未満を中心に分布しており、この範囲に約 6 割の市区町村が含まれている。

合計特殊出生率の高い方をみると、鹿児島県伊仙町が 2.81 で最も高く、次いで沖縄県久米島町 (2.31)、同県宮古島市 (2.27) となっている。一方、低い方をみると、京都府京都市東山区が 0.77 で最も低く、次いで東京都豊島区 (0.81)、大阪府豊能町 (0.82) となっている。合計特殊出生率の最も高い市区町村と最も低い市区町村の差は 2.04 となっている。(図 1、表 1)

\*合計特殊出生率は、地域ごとに平成 20 年～平成 24 年の 15 歳から 49 歳までの女性の 5 歳階級別出生率 (年率) の 5 倍を合計して算出しており、1 人の女性がその年齢別出生率で一生の間に生むとしたときの子ども数に相当し、地域比較に用いている。なお、算出に用いた出生数の 15 歳及び 49 歳にはそれぞれ 14 歳以下、50 歳以上を含んでいる。

図 1 市区町村別にみた合計特殊出生率の分布

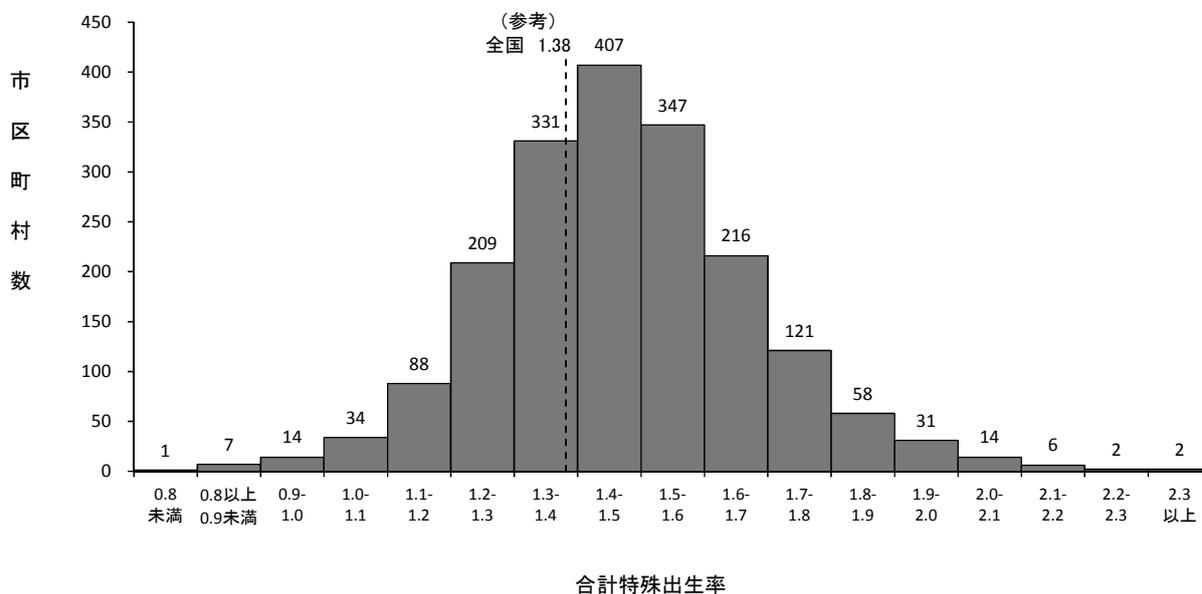


表1 市区町村別にみた合計特殊出生率の上位・下位30位

上位30位

下位30位

順位	都道府県	市区町村	合計特殊出生率	15～49歳女性人口(人)	順位	都道府県	市区町村	合計特殊出生率	15～49歳女性人口(人)
1	鹿児島県	大島郡 伊仙町	2.81	860	1	京都府	京都市 東山区	0.77	9 988
2	沖縄県	島尻郡 久米島町	2.31	1 398	2	東京都	豊島区	0.81	65 904
3	沖縄県	宮古島市	2.27	9 554	3	大阪府	豊能郡 豊能町	0.82	3 979
4	沖縄県	国頭郡 宜野座村	2.20	1 028	4	東京都	中野区	0.85	78 023
5	長崎県	対馬市	2.18	5 108	5	東京都	新宿区	0.85	76 247
6	鹿児島県	大島郡 徳之島町	2.18	1 964	6	東京都	目黒区	0.86	72 130
7	沖縄県	国頭郡 金武町	2.17	2 101	7	福岡県	福岡市 中央区	0.87	53 739
8	沖縄県	石垣市	2.16	9 980	8	東京都	渋谷区	0.87	54 960
9	長崎県	杓岐市	2.14	4 441	9	北海道	札幌市 中央区	0.90	60 596
10	鹿児島県	大島郡 天城町	2.12	896	10	大阪府	大阪市 浪速区	0.90	14 916
11	鹿児島県	大島郡 与論町	2.10	789	11	京都府	京都市 下京区	0.91	20 748
12	沖縄県	島尻郡 南風原町	2.09	8 155	12	東京都	世田谷区	0.92	232 768
13	熊本県	球磨郡 錦町	2.08	1 967	13	大阪府	大阪市 北区	0.92	29 357
14	熊本県	球磨郡 あさぎり町	2.07	2 614	14	東京都	文京区	0.93	53 008
15	沖縄県	島尻郡 南大東村	2.07	202	15	京都府	京都市 上京区	0.93	20 017
16	沖縄県	宮古郡 多良間村	2.07	154	16	埼玉県	入間郡 毛呂山町	0.94	8 232
17	鹿児島県	出水郡 長島町	2.06	1 648	17	東京都	武蔵野市	0.95	35 651
18	鹿児島県	大島郡 瀬戸内町	2.06	1 431	18	大阪府	大阪市 中央区	0.95	22 019
19	福岡県	糟屋郡 粕屋町	2.03	10 292	19	埼玉県	比企郡 鳩山町	0.96	2 534
20	鹿児島県	熊毛郡 屋久島町	2.03	2 135	20	京都府	京都市 中京区	0.96	25 804
21	沖縄県	豊見城市	2.03	13 744	21	東京都	杉並区	0.97	132 756
22	鹿児島県	熊毛郡 南種子町	2.03	936	22	愛知県	名古屋市 中区	0.97	18 158
23	鹿児島県	大島郡 知名町	2.02	953	23	東京都	西多摩郡 奥多摩町	1.00	763
24	熊本県	球磨郡 山江村	2.00	595	24	大阪府	大阪市 西区	1.00	24 229
25	鹿児島県	大島郡 和泊町	2.00	987	25	東京都	品川区	1.01	90 222
26	鹿児島県	大島郡 喜界町	2.00	1 138	26	茨城県	北相馬郡 利根町	1.01	2 907
27	鹿児島県	熊毛郡 中種子町	2.00	1 268	27	北海道	石狩郡 当別町	1.01	3 794
28	滋賀県	栗東市	1.99	15 215	28	東京都	千代田区	1.02	11 594
29	沖縄県	糸満市	1.99	12 405	29	東京都	狛江市	1.02	18 538
30	沖縄県	沖縄市	1.97	30 822	30	北海道	札幌市 厚別区	1.03	28 845

注：人口は総務省統計局「平成22年国勢調査」に基づき、不詳を按分した日本人人口を用いている。

### 3 死亡

平成 20 年～平成 24 年の標準化死亡比\*を市区町村別にみると、約半数の市区町村が 95 以上 105 未満の階級に分布している。

標準化死亡比が低い方をみると、男では神奈川県横浜市都筑区が 73.3 で最も低く、次いで同県同市青葉区 (74.6)、同県川崎市麻生区 (76.2) となっている。女では沖縄県北中城村が 63.8 で最も低く、次いで北海道壮瞥町 (68.1)、神奈川県開成町 (70.6) となっている。一方、高い方をみると、男では岩手県大槌町が 192.4 で最も高く、次いで大阪府大阪市西成区 (181.9)、岩手県陸前高田市 (167.3) となっている。女では岩手県大槌町が 212.7 で最も高く、次いで宮城県女川町 (196.6)、岩手県陸前高田市 (177.0) となっている。(図 2、表 2)

\*標準化死亡比は、性、地域ごとに「全国の年齢階級別死亡率で死亡するとしたときのその地域の期待死亡数」に対する「実際の死亡数」の比を 100 倍して算出している。したがって、年齢構成の違いの影響を除いて死亡状況を表すものであり、地域比較に用いている。

標準化死亡比が 100 より大きい場合、その地域の死亡率は全国より高いと判断され、100 より小さい場合、全国より低いと判断される。

図 2 市区町村別にみた標準化死亡比の分布

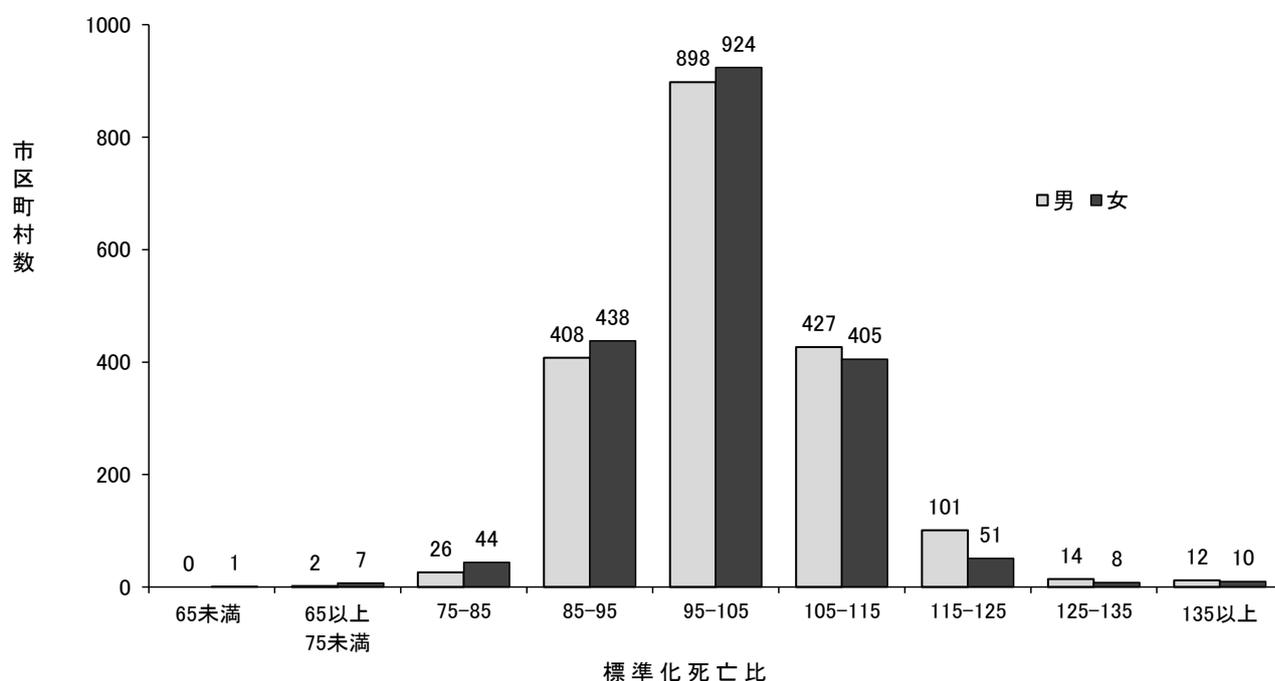


表2 市区町村別にみた標準化死亡比の上位・下位30位

上位30位

順位	男				女			
	都道府県	市区町村	標準化死亡比	人口(人)	都道府県	市区町村	標準化死亡比	人口(人)
1	神奈川県	横浜市 都筑区	73.3	100 634	沖縄県	中頭郡 北中城村	63.8	8 124
2	神奈川県	横浜市 青葉区	74.6	149 037	北海道	有珠郡 壮瞥町	68.1	1 722
3	神奈川県	川崎市 麻生区	76.2	82 077	神奈川県	足柄上郡 開成町	70.6	8 303
4	東京都	杉並区	76.7	260 429	沖縄県	豊見城市	71.8	29 342
5	愛知県	みよし市	78.5	31 569	兵庫県	川辺郡 猪名川町	72.3	16 636
6	神奈川県	愛甲郡 清川村	79.6	1 810	沖縄県	国頭郡 今帰仁村	73.1	4 646
7	神奈川県	足柄上郡 開成町	80.6	7 960	山口県	熊毛郡 平生町	73.9	7 184
8	大阪府	池田市	80.7	50 262	沖縄県	国頭郡 本部町	74.2	6 859
9	神奈川県	横浜市 栄区	81.0	61 124	沖縄県	中頭郡 中城村	76.5	8 745
10	大阪府	豊能郡 豊能町	81.6	10 407	石川県	野々市市	76.6	24 432
11	東京都	目黒区	82.0	122 265	沖縄県	国頭郡 金武町	77.6	5 569
12	東京都	小金井市	82.2	58 752	神奈川県	川崎市 麻生区	78.7	86 057
13	静岡県	浜松市 浜北区	82.3	44 190	沖縄県	中頭郡 北谷町	78.8	13 957
14	千葉県	千葉市 美浜区	82.7	71 343	北海道	広尾郡 大樹町	78.9	3 087
15	京都府	長岡京市	82.8	38 608	新潟県	中魚沼郡 津南町	79.0	5 558
16	兵庫県	川辺郡 猪名川町	83.5	14 943	神奈川県	横浜市 青葉区	79.1	152 683
17	奈良県	北葛城郡 広陵町	83.7	15 664	沖縄県	島尻郡 南風原町	79.2	17 850
18	東京都	多摩市	83.8	72 610	群馬県	利根郡 川場村	79.4	2 090
19	熊本県	菊池郡 菊陽町	83.9	18 474	北海道	常呂郡 置戸町	79.9	1 848
20	宮城県	仙台市 泉区	84.0	101 187	北海道	瀬棚郡 今金町	80.0	3 221
21	兵庫県	川西市	84.2	73 446	沖縄県	中頭郡 嘉手納町	80.3	7 014
22	長野県	塩尻市	84.5	32 907	沖縄県	国頭郡 東村	80.5	794
23	大阪府	箕面市	84.6	61 725	沖縄県	八重山郡 竹富町	81.0	1 859
24	石川県	野々市市	84.6	27 122	沖縄県	名護市	81.0	30 034
25	神奈川県	川崎市 宮前区	84.6	107 979	奈良県	香芝市	81.5	38 868
26	兵庫県	三田市	84.8	54 828	長野県	北安曇郡 松川村	81.5	5 193
27	東京都	国分寺市	85.0	59 208	神奈川県	横浜市 都筑区	81.6	98 827
28	北海道	有珠郡 壮瞥町	85.0	1 502	高知県	邑智郡 川本町	82.0	2 050
29	長野県	北安曇郡 松川村	85.1	4 770	徳島県	那賀郡 那賀町	82.0	4 912
30	沖縄県	中頭郡 中城村	85.1	8 819	東京都	杉並区	82.0	281 890

下位30位

順位	男				女			
	都道府県	市区町村	標準化死亡比	人口(人)	都道府県	市区町村	標準化死亡比	人口(人)
1	岩手県	上閉伊郡 大槌町	192.4	7 114	岩手県	上閉伊郡 大槌町	212.7	8 095
2	大阪府	大阪市 西成区	181.9	68 943	宮城県	牡鹿郡 女川町	196.6	4 989
3	岩手県	陸前高田市	167.3	10 836	岩手県	陸前高田市	177.0	12 353
4	宮城県	牡鹿郡 女川町	162.4	4 854	岩手県	下閉伊郡 山田町	163.2	9 784
5	岩手県	下閉伊郡 山田町	160.2	8 748	宮城県	東松島市	158.6	21 958
6	東京都	西多摩郡 奥多摩町	144.0	2 925	宮城県	石巻市	152.7	83 145
7	宮城県	本吉郡 南三陸町	142.0	8 424	宮城県	本吉郡 南三陸町	152.0	8 889
8	岩手県	釜石市	141.4	18 526	岩手県	釜石市	148.2	20 925
9	大阪府	大阪市 浪速区	141.2	29 208	東京都	西多摩郡 奥多摩町	139.6	3 101
10	宮城県	石巻市	140.7	76 954	宮城県	亶理郡 山元町	135.5	8 605
11	宮城県	東松島市	140.1	20 821	東京都	西多摩郡 日の出町	133.4	8 407
12	福岡県	田川郡 川崎町	139.5	8 227	宮城県	名取市	133.4	37 412
13	青森県	黒石市	134.6	16 792	宮城県	気仙沼市	133.1	37 900
14	宮城県	亶理郡 山元町	133.5	8 052	大阪府	大阪市 西成区	132.0	47 402
15	神奈川県	川崎市 川崎区	131.6	111 946	福岡県	田川郡 川崎町	127.0	9 974
16	神奈川県	横浜市 中区	130.5	72 749	東京都	西多摩郡 檜原村	126.7	1 310
17	福岡県	田川郡 大任町	129.3	2 478	青森県	黒石市	126.5	19 295
18	福岡県	田川郡 糸田町	127.6	4 362	埼玉県	児玉郡 神川町	125.9	7 082
19	宮城県	気仙沼市	127.4	35 164	埼玉県	秩父郡 横瀬町	125.0	4 536
20	福島県	相馬市	126.6	18 330	宮城県	亶理郡 亶理町	124.2	17 945
21	青森県	南津軽郡 大鰐町	126.6	4 982	埼玉県	児玉郡 美里町	123.3	5 763
22	青森県	むつ市	126.4	28 999	北海道	岩内郡 岩内町	122.7	7 735
23	岩手県	下閉伊郡 岩泉町	125.8	5 188	岩手県	宮古市	122.6	31 137
24	茨城県	稲敷郡 美浦村	125.5	8 737	福島県	相馬市	122.4	19 315
25	青森県	南津軽郡 藤崎町	125.2	7 424	千葉県	銚子市	122.3	35 387
26	茨城県	神栖市	125.1	47 457	岩手県	岩手郡 葛巻町	122.2	3 770
27	大阪府	大阪市 大正区	125.0	33 625	埼玉県	入間郡 越生町	121.4	6 281
28	北海道	岩内郡 岩内町	124.9	6 690	千葉県	八街市	121.2	35 840
29	北海道	三笠市	124.8	4 620	大阪府	大阪市 浪速区	120.4	27 880
30	青森県	三戸郡 田子町	124.1	2 902	宮城県	宮城郡 七ヶ浜町	120.1	10 334

注：人口は総務省統計局「平成22年国勢調査」に基づき、不詳を按分した日本人人口を用いている。

# 参考1

本統計は、平成23年3月11日に発生した東日本大震災による死亡を除いた場合の市区町村別にみた標準化死亡比の上位・下位30位である。

参考表 市区町村別にみた標準化死亡比（東日本大震災による死亡を除いた場合の参考値）の上位・下位30位

## 上位30位

順位	男				女			
	都道府県	市区町村	標準化死亡比	人口(人)	都道府県	市区町村	標準化死亡比	人口(人)
1	神奈川県	横浜市 都筑区	73.5	100 634	沖縄県	中頭郡 北中城村	63.9	8 124
2	神奈川県	横浜市 青葉区	74.8	149 037	北海道	有珠郡 壮瞥町	68.3	1 722
3	神奈川県	川崎市 麻生区	76.4	82 077	神奈川県	足柄上郡 開成町	70.8	8 303
4	東京都	杉並区	76.9	260 429	沖縄県	豊見城市	72.1	29 342
5	愛知県	みよし市	78.8	31 569	兵庫県	川辺郡 猪名川町	72.5	16 636
6	神奈川県	愛甲郡 清川村	79.8	1 810	沖縄県	国頭郡 今帰仁村	73.3	4 646
7	神奈川県	足柄上郡 開成町	80.8	7 960	山口県	熊毛郡 平生町	74.1	7 184
8	大阪府	池田市	80.9	50 262	沖縄県	国頭郡 本部町	74.4	6 859
9	神奈川県	横浜市 栄区	81.2	61 124	沖縄県	中頭郡 中城村	76.7	8 745
10	大阪府	豊能郡 豊能町	81.8	10 407	石川県	野々市市	76.9	24 432
11	東京都	目黒区	82.2	122 265	沖縄県	国頭郡 金武町	77.8	5 569
12	東京都	小金井市	82.4	58 752	神奈川県	川崎市 麻生区	79.0	86 057
13	静岡県	浜松市 浜北区	82.5	44 190	沖縄県	中頭郡 北谷町	79.0	13 957
14	千葉県	千葉市 美浜区	83.0	71 343	北海道	広尾郡 大樹町	79.2	3 087
15	京都府	長岡京市	83.0	38 608	新潟県	中魚沼郡 津南町	79.2	5 558
16	宮城県	仙台市 泉区	83.5	101 187	神奈川県	横浜市 青葉区	79.4	152 683
17	兵庫県	川辺郡 猪名川町	83.7	14 943	沖縄県	島尻郡 南風原町	79.5	17 850
18	奈良県	北葛城郡 広陵町	83.9	15 664	群馬県	利根郡 川場村	79.6	2 090
19	東京都	多摩市	84.1	72 610	北海道	常呂郡 置戸町	80.1	1 848
20	熊本県	菊池郡 菊陽町	84.1	18 474	北海道	瀬棚郡 今金町	80.2	3 221
21	兵庫県	川西市	84.4	73 446	沖縄県	中頭郡 嘉手納町	80.5	7 014
22	長野県	塩尻市	84.7	32 907	沖縄県	国頭郡 東村	80.8	794
23	大阪府	箕面市	84.8	61 725	沖縄県	八重山郡 竹富町	81.2	1 859
24	石川県	野々市市	84.9	27 122	沖縄県	名護市	81.3	30 034
25	宮城県	黒川郡 富谷町	84.9	22 835	長野県	北安曇郡 松川村	81.8	5 193
26	神奈川県	川崎市 宮前区	84.9	107 979	奈良県	香芝市	81.8	38 868
27	兵庫県	三田市	85.0	54 828	神奈川県	横浜市 都筑区	82.0	98 827
28	北海道	有珠郡 壮瞥町	85.2	1 502	島根県	邑智郡 川本町	82.2	2 050
29	東京都	国分寺市	85.2	59 208	徳島県	那賀郡 那賀町	82.2	4 912
30	長野県	北安曇郡 松川村	85.3	4 770	福岡県	朝倉郡 筑前町	82.3	15 376

## 下位30位

順位	男				女			
	都道府県	市区町村	標準化死亡比	人口(人)	都道府県	市区町村	標準化死亡比	人口(人)
1	大阪府	大阪市 西成区	182.3	68 943	東京都	西多摩郡 奥多摩町	140.0	3 101
2	東京都	西多摩郡 奥多摩町	144.3	2 925	東京都	西多摩郡 日の出町	133.8	8 407
3	大阪府	大阪市 浪速区	141.6	29 208	大阪府	大阪市 西成区	132.4	47 402
4	福岡県	田川郡 川崎町	139.8	8 227	福岡県	田川郡 川崎町	127.4	9 974
5	青森県	黒石市	135.0	16 792	東京都	西多摩郡 檜原村	127.0	1 310
6	神奈川県	川崎市 川崎区	132.0	111 946	青森県	黒石市	127.0	19 295
7	神奈川県	横浜市 中区	130.9	72 749	埼玉県	児玉郡 神川町	126.4	7 082
8	福岡県	田川郡 大任町	129.6	2 478	埼玉県	秩父郡 横瀬町	125.4	4 536
9	福岡県	田川郡 糸田町	127.9	4 362	埼玉県	児玉郡 美里町	123.7	5 763
10	青森県	南津軽郡 大鰐町	126.9	4 982	北海道	岩内郡 岩内町	123.1	7 735
11	青森県	むつ市	126.7	28 999	千葉県	銚子市	122.6	35 387
12	茨城県	稲敷郡 美浦村	125.9	8 737	埼玉県	入間郡 越生町	121.9	6 281
13	茨城県	神栖市	125.5	47 457	千葉県	八街市	121.7	35 840
14	青森県	南津軽郡 藤崎町	125.5	7 424	大阪府	浪速区	120.9	27 880
15	大阪府	大阪市 大正区	125.3	33 625	奈良県	磯城郡 川西町	120.5	4 458
16	北海道	岩内郡 岩内町	125.2	6 690	青森県	東津軽郡 平内町	119.7	6 491
17	北海道	三笠市	125.0	4 620	青森県	南津軽郡 田舎館村	119.6	4 296
18	青森県	三戸郡 田子町	124.4	2 902	奈良県	北葛城郡 上牧町	119.5	12 499
19	秋田県	鹿角市	124.4	15 966	兵庫県	神戸市 長田区	119.2	50 624
20	大阪府	大阪市 此花区	124.2	31 388	福島県	西白河郡 西郷村	119.1	9 714
21	北海道	古宇郡 泊村	123.9	918	青森県	上北郡 六ヶ所村	119.0	4 873
22	青森県	東津軽郡 外ヶ浜町	123.8	3 245	岩手県	岩手郡 葛巻町	118.8	3 770
23	青森県	東津軽郡 平内町	123.6	5 849	青森県	下北郡 風間浦村	118.4	1 154
24	大阪府	大阪市 東淀川区	123.2	84 731	高知県	室戸市	118.4	8 025
25	青森県	青森市	123.0	138 699	北海道	天塩郡 豊富町	118.3	2 160
26	青森県	北津軽郡 鶴田町	122.9	6 615	奈良県	高市郡 明日香村	118.1	3 063
27	青森県	北津軽郡 板柳町	122.7	6 907	山形県	最上郡 鮭川村	117.7	2 493
28	北海道	空知郡 上砂川町	122.7	1 832	福岡県	田川郡 大任町	117.6	3 015
29	岩手県	下閉伊郡 岩泉町	122.4	5 188	和歌山県	東牟婁郡 太地町	117.5	1 783
30	大阪府	大阪市 平野区	122.2	92 075	茨城県	神栖市	117.4	44 318

注:1)人口は総務省統計局「平成22年国勢調査」に基づき、不詳を按分した日本人人口を用いている。  
 2)「東日本大震災による死亡」とは、市区町村に届けられた死亡届等(※)を基に作成された人口動態調査死亡票に、東日本大震災による死亡であると考えられる記載があったものである。  
 ※戸籍法(昭和22年法律第224号)の規定による。「等」は官公署からの報告をいう。

## 参考2

### ベイズ推定とは

小地域間の比較や経年的な動向を合計特殊出生率や標準化死亡比でみる場合、出生数や死亡数が少ない場合には、数値が大幅に上下することがあり、その地域の出生、死亡の動向を把握することが一般に困難である。これは、標本数（出生数や死亡数）が少ないため、偶然変動の影響を受けやすく、数値が不安定な動きを示すことがあるためである。

このような場合、観測データ以外にも対象に関する情報を推定に反映させることが可能なベイズ推定が、合計特殊出生率、標準化死亡比の推定にあたっての有力な手法となる。

具体的には、当該市区町村を含むより広い地域である都道府県の出生、死亡の状況を情報として活用し、これと各市区町村固有の出生数、死亡数等の観測データを総合して当該市区町村の合計特殊出生率、標準化死亡比を推定するという形でベイズ推定を適用し、数値を算出した。

このように、ベイズ推定の手法を適用することにより、小地域に特有のデータの不安定性を緩和し、安定的な推定を行うことが可能となる。

